

# 今 づ 津 日 赤 だ よ り

2017 秋号

vol.30

今津赤十字病院広報誌



表紙写真 「紅葉の小道」

## 基本理念

私たちは人道・博愛の赤十字精神のもと患者様に信頼される医療を行います。

## 基本方針

### 1. 地域医療

地域の皆様から安心して健康を任される病院を目指します。

### 2. 全人的医療

病気を治すだけでなく、病める人を癒す全人的医療を提供します。

### 3. 医療と福祉の架け橋

医療が終わった後も、その方に適した生活を送っていただくためのお手伝いをする医療福祉センターを目指します。

## TOPICS

- |                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| 副院長挨拶                             | 1 |
| 地域包括ケア病棟の特性と役割                    | 2 |
| 地域包括ケア病棟<br>リハビリテーションについて         | 3 |
| 第32回 西区屋内消火栓操法大会                  |   |
| 平成29年度 今津福祉村納涼盆踊り大会               | 4 |
| 介護奉仕団 しおさい<br>～ボランティア活動がんばっています。～ | 5 |
| 連携病院リレー紹介(マリン病院)                  | 6 |



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

今津赤十字病院

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

# 副院長挨拶



副院長  
尾前 豪

暑い夏が終わったと思えば、季節外れの台風がきて、急速に涼しくなりました。近年はこのように極端な気候になってきています。このため、体に不調をきたしている方も少なくないのではないかでしょうか。気候に対応できるように準備していただければと思います。

さて、日本は、急激に高齢化が進行しています。特に、ここ今津地域の高齢化は、平均を上回って進んでいます。今後も、この高齢化の進行は、衰えることはなく、さらに進むと予想されています。このため、厚生労働省は、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的として、地域包括システムという体制の構築をすすめています。これは、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住み慣れた地域の中に、医療、生活支援・介護予防、介護施設などの体制を構築するというものです。そのためには、地域の住民の方々を、医療や介護などが独立して支えるのではなく、多数の施設が連携して適切な支援を行う必要があります。

当院の基本方針の一つである「医療と福祉の架け橋」は、治療後に、住み慣れた地域に戻ることを支援する、その方に適した生活ができるように支援することを目指しています。入院患者様の場合には、治療が終わったあとに、どのように生活するのがよいのかを模索し、退院先が自宅の場合には、在宅医療のみでなく、介護施設、介護サービスの方々と話し合いの場をできる限り設けるようにしています。また、入院している方々のみでなく、現在、自宅での生活が徐々に困難になりつつあるような方に対しても、可能な限り支援したいと考えています。御要望がある方は、気楽にご相談ください。窓口は、主治医、看護師、訪問看護、医療連携室などがあり、いずれかにご相談ください。お待ちしております。



# 地域包括ケア病棟の特性と役割

3病棟(地域包括ケア病棟)  
看護師

くろ き けん た ろう  
**黒木健太郎**

地域包括ケア病棟は平成26年の診療報酬改定で新設された、高齢化社会における時代のニーズに応える医療施設です。急性期の治療後の回復や日常の生活に不安のある患者様を受け入れ、安心して自宅や施設で暮らせるまでの仲介役を看護師が担います。

これまで急性期から回復した時点で、施設への入所か自宅療養かの選択を迫られ、患者様やそのご家族が苦慮することが問題となっていました。地域包括ケア病棟はそうした亜急性期の患者様を受け入れ、病状観察・リハビリを行っていきます。又、自宅療養中の緊急時受け入れやレスパイト入院(休息入院)さらに在宅復帰へのサポートを行っていきます。

## 地域包括ケア病棟の役割は、患者様の在宅復帰を促すことです。

特に急性期治療を終えて病状が安定している患者様であっても、高齢の患者様が多数を占めているため、急変する危険性が常にあります。

- 看護師はその状態を観察しながら、看護計画に従って可能な限りの自立支援を行います。

地域包括ケア病棟が目指すのは、患者様の完全な自立というわけではなく、何らかのサポートを受けながらでも生活ができる環境を整えること、又、そこまでのリハビリを充実させることだと考えています。



- 患者様とご家族様が望む形での“退院後”を実現するために、具体的な生活を視野に入れたケアを実施していきます。

例えば、食事・着替え・排泄など生活に関わる行動については、看護師が介助を行いながらも、できるだけ自力での動作を促していきます。不可能と思われる場合には、自宅で介護するご家族様に向けての具体的な指導を行い、患者様本人の体の使い方等を訓練していきます。

この様な事を踏まえ地域包括ケア病棟は、在宅復帰を促していく、疾患の改善のみではなく、ご家庭で暮らすことのゴールにすえ、他医療スタッフと連携を取って患者様とご家族を支える体制を整えています。

# 地域包括ケア病棟 リハビリテーションについて

Rehabilitation



- 地域包括ケア病棟(当院:3病棟)では、在宅復帰や施設入所に向けて、治療や処置、ケアに加え必要に応じてリハビリテーションを提供しています。

医療やリハビリが受けられるのは、最長でも60日までです。当病棟は、退院後も家庭や施設で暮らせるようになるための生活を主体とした橋渡しの役割を担っています。また、患者様のリハビリや家族の介護休暇のためのレスパイト入院も受け入れられることが特徴といえます。

- リハビリでは、身体機能だけではなく日常生活動作の評価を行ない、身体機能の回復や介助量の軽減・環境調整、生活に戻れるための手助けを行います。

そのため退院後の生活がスムーズに送れるよう、医師や看護師、メディカルソーシャルワーカーやケアマネージャー、精神保健福祉士等と連携(カンファレンス・家屋調査・施設職員への情報提供)し、患者様と家族を支える体制を図り、情報の共有を大切にしています。

- 理学療法では、身体の動きが不自由となった方に対して、身体機能の維持回復、介護者の介護負担軽減を目的に行っています。

関節を動かし筋力をつける運動や、寝返りや起き上がり、座ったり立ったり、歩く練習を行ないます。特に生活面では、排泄の訴えに着目し、その行為が最低でも一人の介助者で行えるように、手すりを持ち一人で立っていられることに重要性を置いています。



3病棟 担当リハスタッフ

リハビリでは、退院後の生活を見据え、自宅や施設等でその人らしい生活が送れるように、気持ちに寄り添いながらご一緒にさせていただいている。

- 作業療法では、生活の向上を目的に、食事やトイレ・更衣、入浴などの日常生活動作、家事や買い物といった身の回りのことにも関わらせていただいている。また趣味を生かした余暇活動も治療手段として行なうことが特徴です。出来る限りその人らしい生活が送れるような、生活の場を想定して行っています。

- 言語聴覚療法では、飲み込みや、コミュニケーションがスムーズに取れなくなつた方に対してリハビリテーションを行っています。

食事に関しては、まず飲み込みの評価を行ない、安全に食事をして頂くための食形態の調整や飲み込みの訓練を行っています。

また、必要に応じて嚥下造影検査(VF)も行なっています。その他、向上するための個別訓練や、生活でのコミュニケーションの取り方などの助言もさせていただいている。



# 第32回 西区屋内消火栓探法大会

H29.6.24(土)13:00~ 於 福岡市消防学校

いな よし ま い こ  
看護師 稲吉 麻衣子

操法大会に参加した最初のころは普段しない動きに戸惑いを感じながらの練習でした。手足の動かし方、声の出しお一つにしても指導が入り、どうしてこんなことをしているんだろうと落ち込むこともありました。練習を重ねるうちに「やるなら完璧にやりたい」と思う気持ちが強くなりました。

大会当日は色々なハプニングがあり、賞には、届きませんでしたが今までの練習の成果を自分達なりに出し切ることが出来たと思います。実際に火災が起きた際に、その通り出来るわけではありませんが、習ったことを実際の場で、活かすことが出来るように心がけていきたいと思います。

また、同時入職の職員と参加することで、仲間の絆を深めることができ、1つのものをやり遂げるという貴重な体験をすることができました。



左 稲吉麻衣子／中央 中村莉菜／右 大熊由衣



平成  
29年度

## 今津福祉村 納涼盆踊り大会

総務課 主事 山口 天斗

去る8月17日(木)今津小学校にて今津福祉村納涼盆踊り大会が開催されました。この大会は、今津福祉村施設部会(所属9施設)が主体となり、地域住民の皆様と共同して毎年開催される歴史ある地域貢献事業のひとつで、今年でなんと44回を数えます。

本年度は今津赤十字病院が大会事務局となり、開催にかかる企画・調整・運営等進めてまいりましたが、昨年まで会場となっていました松濤園が閉園を受け、新たな開催会場である今津小学校で企画をゼロからやり直す必要がありました。電源の確保や安全対策、限られた財源など、解決しなければならない課題がたくさんありました。

しかしながら、施設部会所属施設や地域住民の皆様、開催会場となった今津小学校の先生方、当院職種を超えた多くの協力があり一つ一つ課題をクリアしていくことが出来ました。

そして、開催当日は、地元周船寺の花火大会と日程が重なっていたにも関わらず、500人を超える多くの来場者があり大盛況でした。何よりも子供たちのたくさんの笑顔に出会えたことで、やってよかったなという大きな感動をえることができました。

このたびの開催に当たりまして、ご協力いただきましたすべての方々に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



お祭りの様子



スーパー水鉄砲すくい



今津赤十字病院  
介護奉仕団 しおさい

～ボランティア活動がんばっています。～



今津赤十字病院介護奉仕団「しおさい」は、平成14年3月に結成され、今年で15年が経過し、現在、8名で活動を行っています。

活動内容については、週に1日（火曜または木曜）午前中に集まり、病棟デイルームにて、清拭用のタオルたたみや、ハンドロール作成、患者様のお茶の用意等をしています。年齢層は、60～70代の方が多いのですが、20代の方も入会され、楽しい雰囲気での活動が行われています。

ボランティア活動以外にも、介護施設の見学ツアーやお食事会も企画し行いお互いの親睦を図っています。

委員長 山本 育子さん

定年退職後、何か始めたいと思った時、友人が「しおさい」を紹介してくれました。毎週活動しながら、楽しくおしゃべりをしています。お世話をしてくれる職員さんに支えられて、13年になります。委員長として、もう少し、がんばって続けたいと思っています。



福田 久美子さん

親がこの病院でお世話になったので始めたボランティアですが、私の方がボランティアの仲間に助けられ、教えてもらったりして、たいへんお世話になっています。ボランティアをする事で、人との出会い、つながりの大さを感じて活動をしています。



柴田 定子さん

**銀色有功章**  
おめでとうございます。



「しおさい」の柴田定子さんが、ボランティア活動15年に対し、平成29年9月5日藤井院長より、銀色有功章の表彰式を行いました。今まで培った経験をいつもみんなに教えてくれる柴田さん、これからもよろしくお願いいたします。

**介護奉仕団「しおさい」ボランティアさんを募集しています**

**活動時間** 毎週1日午前中（火曜日が主ですが、ご相談にのります。）

**服装** 専用のエプロン支給（ロッカーもあります。）

**その他** 活動される方はボランティア保険に加入していただきます。



**△セールスポイント**

比較的ベテランの方が多い「しおさい」ですが、話題も豊富で楽しく活動ができます。社会貢献をしたいと考えている方には、ぴったりな活動だと思います。この記事を見て興味を持たれた方は、是非ご相談ください。心よりお待ちしています。

**お問合せ先**

今津赤十字病院「しおさい」事務局 地域医療連携室 ☎092-806-2111

当院では、さまざまな医療機関との連携を大切にしています。このコーナーでは、リレー方式で各医療機関の方に登場していただき、連携について語っていただきます。第2回目は、聖峰会マリン病院です。

## 医療法人聖峰会 聖峰会マリン病院(福岡市西区小戸)

院長 岩尾 憲夫 先生

### 地域包括ケアシステム構築のために -病院の機能分化と連携-

能古島一小戸妙見岬一今津暮石鼻に囲まれた「今津湾」は元寇防塁跡の風光明媚な地で風致地区に指定されています。今津湾を挟んで東西の対岸に今津赤十字病院と聖峰会マリン病院が立地しています。団塊の世代が後期高齢者となり、医療や介護サービスの需要が増える2025年に備えて、地域包括ケアシステムの推進と医療提供体制の構築のために病院の機能分化・強化と連携の充実の取組が求められています。

当院は平成11年から昨年まで85床を一般急性期病院としてやってまいりましたが、28年9月から57床の7対1看護体制の急性期病棟と28床の地域包括ケア病床とし、急性期と回復期機能を持つ病院に機能を変換いたしました。地域包括ケア病床の入院患者さんのほとんどが急性期病棟からの転棟患者さんです。今後は在宅や施設患者、高度急性期病院から患者さんを受け入れなければいけないと考えています。

救急搬送件数は年間約1000件で、内科、循環器科、呼吸器科、外科、整形外科の専門医が急性期の治療を行うことができる病院としてやってきました。福岡市内では重症者は高度急性期の病院に搬送されることが多くなり、中小病院では中等症や軽症の割合が増加しています。

高齢化が進むに連れ、要介護者の誤嚥性肺炎や転倒による骨折、在宅医療での増悪などは中小の病院が受け入れるべきではないかと考えています。急性期病棟は23%以上の重症度、80%以上の在宅復帰率が課せられていますので、入院の時から支援ナースによる退院支援を開始しています。認知症、障害者病床、地域包括ケア病床及び療養病床など多機能型地域病院である今津赤十字病院には認知症患者さんでは特にお世話になっています。

今後とも連携をさせていただいて西区の地域包括ケアシステムの推進に取り組んでいきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいいたします。



## 診療案内

- \* 診療科目 内科・精神科(認知症)・神経内科・胃腸科・循環器科・リハビリテーション科・放射線科
- \* 受付時間 (月曜日～金曜日)午前8時30分～午前12時00分及び午後1時30分～午後4時30分
- \* 休診日 土曜・日曜・祝日、年末年始(12月29日～1月3日)、日本赤十字社創立記念日(5月1日)  
※ご不明な点がございましたら、お気軽に病院までお問い合わせください。

### 今津赤十字病院 外来診療担当表

平成29年9月14日から

診療科目		月	火	水	木	金	土	日
内科	午前	初診	森・川本	森 佐保	富田 祐亮	九大腎臓内科	川本 夕季	
		再診	尾前 豪	藤井 弘二	福大神経内科	藤井 弘二 (生活習慣病)	藤井 弘二	
					尾前 豪	川本 夕季	森 佐保	
					古瀬 正徳			
精神科 (認知症外来)	午前	午後(初診及び再診)	古瀬 正徳	川本 夕季	富田 祐亮	九大腎臓内科	尾前・古瀬	
		(予約制) 初診						
	午後 初診(予約制)	応相談						
		田中 和宏	藤井 康平	勝治 一夫	勝治 一夫	桑野 信貴		
		勝治 一夫	勝治 一夫	勝治 一夫	勝治 一夫	古賀 勝治		
		藤井 康平		藤井 康平		藤井 康平		
				畠部 暢三		古賀 勝治		

### 病院へのアクセス



#### JRでのアクセス

- \* JR九大学研都市駅下車の場合  
JR九大学研都市駅南口前より病院無料送迎バスをご利用ください。  
(下記時刻表を参照ください)

- \* JR今宿駅下車の場合  
昭和バス「今宿駅前」バス停より、「西の浦行き」乗車、「日赤入口」バス停下車、徒歩約10分

#### お車でのアクセス

西九州自動車道今宿ICより約10分



#### 送迎バスのご案内

JR九大学研都市駅南口前より、送迎バスを運行しておりますので、お気軽にご利用ください。

便	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便	第8便	第9便	第10便
病院→JR九大学研都市駅南口前	8:55	9:35	10:15	10:55	11:35	12:15	12:55	13:35	14:15	14:45
JR九大学研都市駅南口前→病院	9:15	9:55	10:35	11:15	11:55	12:35	13:15	13:55	14:35	15:00
運行日	平日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土日祝祭日	—	○	○	○	—	—	—	○	—

※平成27年2月1日改正